



# 平成31年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年3月11日

上場会社名 萩原工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7856 URL <https://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 和志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事業支援部門長 (氏名) 吉田 淳一

TEL 086-440-0860

四半期報告書提出予定日 平成31年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年10月期第1四半期の連結業績(平成30年11月1日～平成31年1月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年10月期第1四半期	7,565	27.0	630	17.8	616	20.0	423	19.3
30年10月期第1四半期	5,958	10.4	767	0.2	770	0.2	525	0.8

(注) 包括利益 31年10月期第1四半期 294百万円 ( 44.3%) 30年10月期第1四半期 529百万円 ( 34.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年10月期第1四半期	29.29	
30年10月期第1四半期	36.30	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年10月期第1四半期	31,142	21,177	68.0
30年10月期	31,789	21,114	66.4

(参考) 自己資本 31年10月期第1四半期 21,175百万円 30年10月期 21,113百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年10月期		16.00		16.00	32.00
31年10月期					
31年10月期(予想)		16.00		16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年10月期の連結業績予想(平成30年11月1日～平成31年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,800	16.9	1,430	1.2	1,490	0.7	1,030	1.9	71.20
通期	29,000	9.6	2,800	4.2	2,900	4.3	2,000	6.1	138.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年10月期1Q	14,897,600 株	30年10月期	14,897,600 株
-----------	--------------	---------	--------------

期末自己株式数

31年10月期1Q	430,980 株	30年10月期	430,980 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年10月期1Q	14,466,620 株	30年10月期1Q	14,466,672 株
-----------	--------------	-----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調にあるものの、通商問題や不透明な国際情勢等に起因する海外経済の腰折れ懸念が続き、不安定な経営環境にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画(DH56)の内容を踏襲し、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高75億65百万円(前年同四半期比27.0%増)、営業利益6億30百万円(前年同四半期比17.8%減)、経常利益6億16百万円(前年同四半期比20.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億23百万円(前年同四半期比19.3%減)となりました。

## [合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、コンクリート補強繊維「バルチップ」及び粘着テープ用クロスが堅調に推移し、またブルーシート、土のう関連も、概ね順調でした。一方、人工芝関連は低収益製品の比率が上がったことが、またフレコン関連は輸入商材が、それぞれ収益圧迫要因となりました。さらなる収益向上を目指し、引き続き採算是正活動を推進しております。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、売上、利益とも順調に推移いたしました。

中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、販売は順調であるものの、米中の関税引き上げの影響回避のため一部工程を国内に移管したことが売上、利益の下押し要因となっております。工程の見直し活動などコストダウン策を実施し、収益確保に努めております。

昨年6月に買収した「東洋平成ポリマー株式会社」におきましては、業績は計画を若干上回っているものの、原材料価格上昇の影響が継続しております。引き続き統合効果の最大化を通じて、さらなる収益向上を追求してまいります。

その結果、売上高59億85百万円(前年同四半期比31.7%増)、営業利益4億99百万円(前年同四半期比14.2%減)となりました。

## [機械製品事業]

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、国内向けは軟包装系及び光学系が、海外向けは東南アジア諸国で軟包装系、中国で光学系が、それぞれ順調でした。

ワインダー機器は、国内向けの粘着基材系及び封止材系がそれぞれ順調でした。

押出関連機器は、高機能フィルム用スクリーンチェンジャーの新規需要及び濾過面積拡大改造、並びにリサイクル用造粒装置の更新需要が、またリサイクル関連機器は、社内リサイクルラインの新設需要があり、それぞれ順調でした。

収益面では、開発性の高い機械の販売があり、利益を圧迫しました。

その結果、売上高15億79百万円(前年同四半期比11.7%増)、営業利益1億30百万円(前年同四半期比29.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は311億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億46百万円の減少となりました。資産の部では、流動資産は181億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億17百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が減少したこと等によります。

固定資産は130億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億71百万円の増加となりました。これは工場等用地を取得したことによる増加及び円高により在外子会社の固定資産の円換算額が減少したこと等によります。

負債の部では、流動負債は82億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億53百万円の減少となりました。これは賞与引当金が2億56百万円及びその他流動負債に含まれる前受金が2億19百万円減少したこと等によります。

固定負債は17億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が減少したこと等によります。

純資産の部は211億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円の増加となりました。これは利益剰余金が増加したこと等によります。この結果、自己資本比率は68.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月10日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,407,589	3,897,770
受取手形及び売掛金	7,628,202	7,425,359
商品及び製品	2,104,387	2,220,790
仕掛品	2,642,448	2,633,835
原材料及び貯蔵品	1,164,619	1,299,983
その他	576,817	628,821
貸倒引当金	△1,980	△1,863
流動資産合計	19,522,084	18,104,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,272,486	2,232,482
機械装置及び運搬具(純額)	2,798,890	2,725,606
工具、器具及び備品(純額)	298,058	294,192
土地	3,262,946	4,174,144
建設仮勘定	160,824	211,627
有形固定資産合計	8,793,206	9,638,053
無形固定資産		
のれん	569,096	524,897
その他	494,006	478,544
無形固定資産合計	1,063,102	1,003,442
投資その他の資産		
保険積立金	1,298,769	1,315,393
その他	1,112,167	1,081,501
貸倒引当金	△136	△136
投資その他の資産合計	2,410,800	2,396,757
固定資産合計	12,267,109	13,038,253
資産合計	31,789,194	31,142,951

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,969,234	2,044,602
電子記録債務	1,896,670	2,065,455
短期借入金	2,211,710	2,206,642
未払法人税等	492,879	251,716
賞与引当金	566,824	310,623
製品保証引当金	58,387	58,387
その他	1,689,230	1,294,486
流動負債合計	8,884,938	8,231,915
固定負債		
長期借入金	645,772	589,948
退職給付に係る負債	694,805	693,320
その他	448,784	450,702
固定負債合計	1,789,362	1,733,970
負債合計	10,674,300	9,965,886
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,469,816	1,469,816
利益剰余金	17,966,628	18,157,633
自己株式	△473,903	△473,903
株主資本合計	20,740,926	20,931,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,788	10,158
繰延ヘッジ損益	△861	△2,605
為替換算調整勘定	226,920	122,777
退職給付に係る調整累計額	122,696	113,370
その他の包括利益累計額合計	372,543	243,700
非支配株主持分	1,423	1,432
純資産合計	21,114,894	21,177,064
負債純資産合計	31,789,194	31,142,951

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年11月1日 至平成31年1月31日)
売上高	5,958,289	7,565,676
売上原価	4,203,566	5,530,127
売上総利益	1,754,723	2,035,548
販売費及び一般管理費	987,274	1,405,041
営業利益	767,448	630,506
営業外収益		
受取利息	982	1,426
受取配当金	596	666
受取保険金	16,659	19,881
その他	14,337	20,235
営業外収益合計	32,575	42,210
営業外費用		
支払利息	5,238	8,874
売上割引	9,662	10,864
為替差損	12,335	34,670
その他	1,825	1,345
営業外費用合計	29,061	55,754
経常利益	770,963	616,962
特別利益		
固定資産売却益	6,505	—
特別利益合計	6,505	—
税金等調整前四半期純利益	777,468	616,962
法人税等	252,315	193,176
四半期純利益	525,153	423,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	525,120	423,744

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年11月1日 至 平成31年1月31日)
四半期純利益	525,153	423,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	877	△13,630
繰延ヘッジ損益	△193	△1,743
為替換算調整勘定	26,286	△104,176
退職給付に係る調整額	△22,591	△9,325
その他の包括利益合計	4,378	△128,875
四半期包括利益	529,531	294,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	529,495	294,901
非支配株主に係る四半期包括利益	36	8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,544,083	1,414,206	5,958,289	—	5,958,289
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	51,463	51,463	△51,463	—
計	4,544,083	1,465,669	6,009,752	△51,463	5,958,289
セグメント利益	582,486	184,961	767,448	—	767,448

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年11月1日至平成31年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,985,761	1,579,914	7,565,676	—	7,565,676
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	26,550	26,550	△26,550	—
計	5,985,761	1,606,465	7,592,226	△26,550	7,565,676
セグメント利益	499,662	130,844	630,506	—	630,506

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。